

議会だより発行 **40**周年 (昭和59年4月23日創刊)



白鷹町誕生 **70**周年



議会だより

# しらたか

12月定例会  
山形県白鷹町議会

Vol. **165**

2025年1月17日発行  
(令和7年)



## 元気の源は笑顔から

認知症予防サロン・地域食堂  
**十王オレンジカフェ**

5ページに関連記事

- 補正予算 ふる里子ども交流館利活用へ . . . . . 4 p
- ここが聞きたい 一般質問 . . . . . 6 p
- 追跡レポート 捕獲わなの増設は . . . . . 14 p
- 上下水道の耐震化は . . . . . 15 p
- 輝く地域の力 白鷹の未来を彩る「チーム★健康美プロジェクト」 . . . 16 p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。



# 定例会の概要

12月  
定例会

定例会は12月5日から12日までの8日間で開催され、予算特別委員会と本会議で審議の結果、原案のとおり可決しました。

## 会議種別

- 本会議
- 議会運営委員会 11ページに関連記事
- 予算特別委員会 4ページ
- 総務厚生常任委員会 8・12ページ
- 産業建設常任委員会 10・13ページ
- 全員協議会
- 議会活性化特別委員会
- 議会広報特別委員会

## 審議 ～予算特別委員会・本会議～

- 各会計補正予算（計12件）4ページ
  - ・一般会計（3件）
  - ・国民健康保険特別会計（2件）
  - ・介護保険特別会計（2件）
  - ・水道事業会計（2件）
  - ・下水道事業会計（2件）
  - ・町立病院事業会計（1件）
- 条例案件（計5件）5ページ
  - ・給与に関する条例の一部を改正（3件）
  - ・町税に関する条例の一部を改正（1件）
  - ・ほか（1件）
- 契約案件（計2件）5ページ
  - ・請負契約の一部変更（2件）
- 指定管理者の指定（計7件）5ページ
  - ・管理期間の変更（6件）
  - ・管理者の指定（1件）

## 一般質問 ～ここが聞きたい～

- 金田 悟 議員  
【佐藤町長5期目の町政運営について】6ページ
- 丸川雅春 議員  
【新産業団地計画と、労働力確保に向けた定住につながる交流・関係人口の拡大について】7ページ



# 目指す、地域の活力向上

## コミュニティセンターの新たな運営体制



地域住民によるコミセンまつり

### ◆一括した職員の雇用・施設管理

令和7年度から、各地区コミセンの施設管理体制が変更となる。職員のなり手不足などに対応するために、これまで各地区の協議会などに委託してきた職員の雇用・施設の維持管理を、今後は一般財団法人白鷹町アルカディア財団が、全6施設を一括して行うこととなる。

### ◆事業の企画・運営はこれまで通り

コミセンを中核として行われている、各地区の地域振興や事業の遂行、イベント実施などは、これまで通り各地区の協議会などが中心となって企画・立案、運営を行っていただく。

詳しくは5・12ページ

## 6次産業化推進拠点施設の整備



検討委員会による機器のデモ

### ◆見直し整備計画を提示

6次産業化推進検討委員会や産業振興戦略会議での意見を踏まえ、当初の施設整備計画には無かった商品開発や試作品販売のための機能などを追加した、見直し計画が示された。

### ◆令和8年度に供用開始

整備計画の見直しに伴い、準備期間が1年延長され、令和8年度の供用開始となる。

- 今年度：実施設計業務発注
- 7年度：工事発注
- 8年度：グランドオープン

詳しくは13ページ

# ふる里子ども交流館利活用へ

## 一般会計補正予算(4号～6号)の主なもの

児童ふれあい交流促進事業 ▲1525万円  
施設利用方針の変更に伴う対応

コンビニ交付システム導入事業 94万円  
氏名振り仮名法制化によるシステム対応

教育振興費 20万円  
学校図書の整備

冬の生活応援事業 390万円  
灯油等購入費助成の追加計上

林道沼平線道路改良事業 300万円  
令和6年9月大雨の影響を受け、必要となる追加工事への対応

道路新設改良事業費 735万円  
道路改良県事業負担金(国道287号等)の追加計上

事務局費(負担金補助及び交付金) 403万円  
学校給食費の高騰対策支援等への追加対応

小学校管理費(手数料、委託料、工事請負費) 285万円  
施設補修等を行うための対応

観光施設豪雨災害復旧事業 850万円  
令和6年9月豪雨災害への対応(森林公園)

など、1億1731万円を補正し、一般会計総額は102億2971万円となった。

◎財源は、国・県支出金、寄附金、繰越金、諸収入、町債などで対応。

※万円未満は端数調整



## 補正予算の主な質疑

### ふる里子ども交流館の利活用

佐々木委員 児童ふれあい交流促進事業の減額は、利活用という利用方針の変更と聞いている。どのような形で利活用を図っていくのか。  
総務課長 公益性の高い団体から施設を活用したい申し出があり、様々調整をさせていただき、本年10月から無償で活用をいただいている。



利活用された施設内部

償で活用をいただいている。

### コンビニ交付の状況

竹田委員 マイナカードによるコンビニ交付システムが11月22日から導入されたが、これまでの実績は。  
町民課長補佐 開始してから13日間の実績となるが、住民票13件、印鑑証明書10件、合計23件となっている。

竹田委員 コンビニ交付は、朝6時30分から夜11時までとのことだが、役場の開庁時間以外での活用はあったのか。  
町民課長補佐 合計23件のうち、土曜日及び日曜日の交付が10件、平日の開庁時間以外の交付が5件、合計15件が時間外の交付となっている。

### 学校図書の整備

横山委員 学校図書整備の概要と取り組みの内容は。  
教育次長 公益社団法人長井法人会様から、優良図書の整備に役立ててもらいたいと寄附をいただいた。小学校各校に5万円ずつの図書購入を予定している。



## 条例

### ●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

職員の不祥事により、令和7年1月1日から令和7年1月31日まで、当該月額給料を町長は20%、副町長は10%それぞれ減額するもの。

### ●白鷹町町税条例の一部を改正する条例

令和7年度以後の都市計画税について、当分の間、課税を停止するもの。また、地方税法の改正により寄附金税額控除の規定が改正されたことから、所要の整備を行うもの。

ほか、3件を可決した。

## 契約

### ●白鷹中学校体育館等改修工事請負契約の一部変更

工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要があるため。

変更前 2億20万円  
 変更後 2億541万9500円  
 (521万9500円増)

### ●町民武道館空調設備整備工事請負契約の一部変更

工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要があるため。

変更前 5445万円  
 変更後 5531万2400円  
 (86万2400円増)

## 指定管理

### ●白鷹町コミュニティセンターの指定管理期間の変更

運営体制の見直しに伴い、指定管理期間を変更するもの。

#### 施設及び指定管理者の名称

白鷹町蚕桑地区コミュニティセンター	蚕桑地区桜の里づくり推進委員会
白鷹町鮎貝地区コミュニティセンター	鮎貝地区まちづくり協議会
白鷹町荒砥地区コミュニティセンター	荒砥地区コミュニティ運営協議会
白鷹町十王地区コミュニティセンター	十王地区自治振興会
白鷹町鷹山地区コミュニティセンター	鷹山地区自治振興会
白鷹町東根地区コミュニティセンター	東陽の里づくり協議会

指定管理期間 変更前 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで  
 変更後 令和3年4月1日から令和7年3月31日まで

### ●白鷹町コミュニティセンターの指定管理者の指定

運営体制の見直しに伴い、指定管理者を新たに指定するもの。

指定管理者 一般財団法人 白鷹町アルカディア財団  
 指定の期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで  
 対象施設 町内各地区コミュニティセンター



十王地区では、高齢者のフレイル・認知症予防のための集いの場として「十王オレンジカフェ」を開設し、毎月コミュニティセンターで体操と食事を開催しています。

福祉バスでの送迎や認知症サポーターによる生活相談、有償ボランティア等先進的な取り組みで、高齢者の孤立防止や見守りにもなっているようです。

利用されている方の生き生きとした表情から、地域の支え合いや優しさが感じられます。

元気の源は笑顔から  
 認知症予防サロン・地域食堂  
 十王オレンジカフェ

表紙



録画を配信

# 佐藤町長5期目の町政運営について

## 町長 将来像の実現に向け取り組みを進めたい



金田 悟議員

町政運営全般は広範囲であるため、今回は農業分野に特化して質問させていただきました。

### 基盤整備事業

**問** 基盤整備率は。

**農政課長** 水田で74%、畑地は4%にとどまっている。

**問** 今後の計画は。

**農政課長** 浅立地区が令和4年度から調査計画が開始。令和7年度には東横田尻地区に鮎貝、高玉地区の一部を含んだ事業が計画されている。

**問** 担い手は十分確保されているのか。

**農政課長** 基盤整備事業は担い手が確保されていることが前提となっていることから、十分考慮したうえで進めている。

**町長** 担い手の確保ということが、我が町にとって非常に重要な課題である。

### 白鷹町土地改良区

**問** 近年、電気代の高騰により、土地改良区の運営に支障をきたしているが、農業水利の問題も含めての認識はどうか。

**農政課長** 白鷹揚水機場と幹線送水管等の付帯設備の整備から40年以上経過し、維持管理経費の増大と、電気料金の高止まりで、経営的に厳しい状況と認識している。



米づくりに欠かせない揚水施設

### 水田活用の直接支払交付金

**問** 交付対象面積は。

**農政課長** 令和6年度の交付対象面積は、168㌫である。

**問** 水張りを実施または実施見込み面積は。

**農政課長** 令和5年度28㌫、令和6年度38㌫、令和7年度以降53㌫である。

**問** このままだと、約50㌫が交付対象から除外となる計算だが、少しでも減らす取り組みは。

**農政課長** さまざまな機会を通し、声掛けなど周知を図っていきたい。

### 地域計画

**問** 各地区で地域計画を策定中だが、耕作放棄地などが増加していくことが想定される。認識はどうか。

**町長** 地域計画の中で、前向きな提案を出していただければ、支援策を考えられるかもしれない。ぜひ地域計画でご検討願いたい。

### 私もひとこと

これから、ますます地域農業の姿が心配です。地域の実情を反映した取り組みに期待します。(60代男性)

# 新産業団地計画の背景にあるものは

## 町長 用地確保により雇用の場を確保していくこと



録画を配信

### 新産業団地計画について

#### 計画の背景と展望

**問** 町長は5期目に向けた決意と抱負の中で、新産業団地の造成を計画していることを述べられた。この計画の背景と今後の展望は、

**町長** 複数の企業から産業用地の相談が寄せられている。用地確保がままならない場合は、既存企業の町外移転も考えられ、大事な雇用の場が失われる可能性もあるため取り組んできた。

今年度末をめどに基本構想を策定し、着実に新産業団地の整備を進めていきたい。

#### 人材の確保

**問** 企業の投資意欲は高まっているという報道がある。こうしたことに応えるために労働力をどのように確保していくか。

**商工観光課長** 荒砥高校や白鷹中学校の生徒を対象に、地元定着に向けて町内企業を知ってもらう機会の充実に取り組んでいる。今後ともさまざまな角度から人材確保対策の充実を図っていきたい。



丸川雅春議員



新産業団地に期待（写真は東部工業団地）

#### 補助の拡充

**問** 新産業団地整備に当たり、立地を希望する企業への補助の拡充も必要と思うが、いかがか。

**商工観光課長** 既存補助金の拡充など、本町を選んでいただける支援制度を検討していきたい。

#### 西廻り幹線道路

**問** 将来的に整備が進めば、本町の企業にとって重要な通勤道路となる「西廻り幹線道路」の要望活動への思いは。

**町長** 余りにも事業費がかかりすぎるため、直ちに組み組むということではないという県の認識は聞いているが、決してあきらめてはいない。総会などの運動を続け、確実に一歩前に進むように頑張っていきたい。

#### 交流・関係人口の拡大について

##### 二地域居住の対応

**問** 都市と地方に生活拠点を持つ、二地域居住の今後の対応についてどのように考えているか。

**企画政策課長** 国の二地域居住を促進する改正法による支援制度を

#### 家賃補助を

**問** 町内の若者同士が結婚しても住居を町外に構える例を耳にする。定住人口につなげるため住居手当の支援も必要と思うが、いかがか。

**町長** 家賃補助については相当慎重に考えていかなければならないと思う。民業圧迫にならない形での取り組みが必要と認識している。

#### 私もひとこと

結婚が町内でも、若者同士が町内でも、職場が町内でも、職がかわらずに町内に残るのとは、とても残念だなあ。  
(50代女性)



総務厚生常任委員会 12月9日

## 町社会福祉協議会へ委託

地域包括支援センターの委託について説明を受けた。

### 【地域包括支援センターの状況】

高齢化や単身世帯の増加等に伴い、複数の課題を併せ持ったケースや対応に時間がかかるケースが増加。より効果的で持続可能な体制の検討が必要。

### 【業務委託について】

- 委託先 白鷹町社会福祉協議会（以下社協）
- 選定理由
  - ①高齢者支援の軸となる左記の事業を生業としており、組織内で調整可能な部分が大きく、スピーディーで強固な支援体制構築が可能。
  - ②民生委員・児童委員事務局機能
  - ③地域づくり・ボランティア団体の育成支援事業

### 質疑

#### 人員の確保

◇生活困窮者自立支援、生活福祉資金貸付、フードバンク事業等  
②長期的・安定的な人材確保により、生活に寄り添った支援が可能。

【委員】人員確保のめどは立っているのか。配置人数はどうか。  
【当局】社協で職員採用を進めており、必要な



#### 町との連携

3職種（主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等）、事務職員採用の見込みはあると聞いている。各1人ずつだが、保健師は2人を想定している。

【委員】障がい者の相談は町直営のままだが、多くの問題を抱える家庭への対応など、社協との連携が重要であり、町の所見はどうか。  
【町長】隙間のニーズを漏らさないことが大切。町民の声を、どこでも受け入れられる体制を整えることが必要である。

## 安心して暮らせるまちづくりのために

第2次白鷹町地域福祉計画の策定について（中間報告）説明を受けた。

### 質疑

#### 権利擁護への取り組み

【委員】障がいを理由とする差別解消や子ども・高齢者への虐待防止など、権利擁護の具体的な働きかけはどうか。  
【当局】財産管理等のニーズが高まっており、成年後見制度等を活用しながらの取り組みを進めたい。

#### 担い手の育成

【委員】担い手育成の具体的な取り組みや支える人材についての考えはどうか。  
【当局】町民を巻き込んだ取り組みが必要。声がけなどにつながるようPRしたい。支える人材不足は町全体の課題であり、民生児童委員等の協力を得ながら取り組んでいきたい。

### 【計画の位置づけ】

白鷹町における地域共生社会の実現を目指し、地域福祉を推進する基本となる計画。

### 【計画期間】

令和7年度から11年度（5年間）

### 【基本理念】

「支え合い、思いやり、安心して暮らせるまちづくり」

### 【基本目標】

- 誰もが安心して暮らすしを支援する体制づくり
- 適切な福祉サービスを利用できる仕組みづくり
- 誰もが福祉活動に参加できる地域づくり
- 包括的な支援を実現する体制づくり
- 権利を守り生活を支援する体制づくり

#### デジタル活用

【委員】デジタルを活用した多様な取り組みの具体的な内容は何か。  
【当局】町民ニーズを把握し進めるが、人間ドックや健診結果を分析し、個人向けプログラムの提供や運動習慣づくりなどに役立ててい





# 子どもが輝くまちづくりをめざして

第3期白鷹町子ども・子育て支援事業計画の策定について説明を受けた。

## 【基本理念】

確かな時代(あした)を、地域みんなで

く白鷹っ子の笑顔  
かがやくまち

## 【施策目標】

○こどもの「生きる力」の育成

○子育て家庭の健康づくりの推進

○子育て家庭への支援の充実

○仕事と家庭の両立の推進

○こども・子育てに配慮したまちづくり

○地域における子育て支援の充実

○次代の親の育成

○子ども人口の推移

令和6年実績は5歳以下が328人、6〜11歳が508人の計836人。令和11年推計で5歳以下が228人、6〜11歳が356人の

計584人と、約30ポイント減少する見込み。

## 質疑

### 相談支援体制

【委員】子育ての相談相手が少ない人の割合も一定数ある。改善のための支援体制はどうか。

【当局】子育て支援センターや保育所施設の相談窓口とも連携し、一体的な体制強化に取り組んでいきたい。

### 障がい児施策

【委員】発達障害などの診断を受ける際、時間がかかる。診断前のサービス利用は可能か。

【当局】診断がまだの場合でも、支援の必要性があればサービス利用は可能である。

### 保護者の意見の反映

【委員】子育て会議時の保護者の意見は生かされているか。

【当局】会議を2回実施し、子育て中の母親に参加いただいた。大人の居場所が少ないというご意見をいただき、計画に盛り込んだ。



寝る子は育つ

# 持続可能な人口対策を

第6次白鷹町総合計画後期基本計画(案)及び白鷹町振興実施計画(案)について説明を受けた。

## 【基本的考え方】

将来像の実現に向けて「人づくり」「産業・経済」「定住化」「地域力」

の重点4分野に注力するとともに、前期基本計画で設定した将来人口目標(2040年…1万5000人程度)を目指す。

【主な持続可能な人口対策について(案)】

重点プロジェクトに位置付け、「人への投資」を中心に持続可能なまちづくりを進める。

子育て世代の転入増や転出抑制により人口を確保し、全世代の健康増進を進めることで生活環境を整え、多様な人材の還流によって持続可能な地域社会の形成をめざす。

特に生産年齢人口の

## 起業・創業支援

【委員】起業・創業支援について、先進事例などを周知し、機運を高める取り組みもよいのではないか。

【町長】企業や商工会とも連携が必要。個別的には慎重に取り組む必要があると思う。

## 質疑

### 5年後の目標

【委員】後期計画終了時の5年後、2030年の人口目標はあるか。

【当局】具体的にはないが、2040年の数値目標までの設定の範囲になる。

### 女性活躍の場

【委員】人口維持には女性活躍の場は重要。町内企業の理解や後押しが必要ではないか。

【当局】企業や金融機関等との連携が重要。理解と協力が必要になるので、関係各課とも連携していく。



役場庁舎

その他  
○人材ベースキャンプ設立事業及び人材還流促進事業の実施状況について、説明があった。

産業建設常任委員会 12月10日

## 白鷹ならではの魅力を磨き上げる

観光交流推進計画の策定について（中間報告）説明を受けた。

### 【計画策定の趣旨】

観光業における変化に対し、白鷹ならではの魅力を磨き上げることで、これからの観光の推進及び振興・交流人口の拡大を図る。

### 【計画期間】

令和7年度から令和11年度までの5カ年。

### 【計画の位置づけ】

観光振興の基本理念や方向性を示すと共に、町民、観光業者、観光協会、行政などが一体となって取り組む必要があり、観光振興施策を計画的に推進するためのもの。「第6次白鷹町総合計画」と連動を図り、効果的に推進していく。

### 質疑

#### インバウンド

**委員** インバウンドの受け入れ環境整備が課題とあるが、本町の受け入れ実績は。

**当局** 本町の場合、通過型になっており、把握が困難となっているが、宿泊などによる数値把握を行っていききたい。

### 観光資源の周知

**委員** 観光コンテンツの創出について、いい資源があるが周知が足りないと思う。整理をしていくべきではないか。

**当局** 策定委員会内でも同様の意見があり、今後整理し、まとめていききたい。

### 個人的な資源

**委員** 地域資源の活用について、個人で頑張っている方の資源はどうしていくのか。

**町長** 個人に対して町の支援というのは難しいと考える。地域づくりに関する交付金などを活用し、地域の中で取り組んでいただければと思う。



にぎわうヤナ場

## 持続可能な経営基盤の確立を目指して

水道事業経営戦略の改定について（中間報告）説明を受けた。

### 【経営戦略の目的と位置づけ】

町民生活に不可欠な水道事業を安定的に継続していくため、施設等の老朽更新や耐震化対策、人口減少に伴う料金収入の減少などの課題を中長期的な投資・財政計画に反映するとともに、その実現方策を示す経営の基本計画として位置づけるもの。

### 【基本方針】

安心・安全な水を安定して供給するため、施設等の老朽化や耐震化への対策、施設等の縮小化に取り組み、持続可能な経営基盤の確立を目指す。

### 【投資・財政計画】

老朽更新に伴う耐震化を計画的に確実に実行するとともに、広域

### 質疑

#### 人材不足の影響

**委員** 耐震化の発注事業の際、水道事業者の不足も考えられるが、その点をどう捉えているか。

**当局** 人材不足という厳しい状況は伺っているが、マニュアルをまとめるなど、対応していきたい。同時に、町民へ向けた丁寧な説明も実施していきたい。



いそがれる耐震化

#### 水質管理について

**委員** 全国で取り上げられている「有機フッ素化合物」への対応は考えているか。

**当局** 国において検査を義務付けた管理強化策が令和7年春をめどに出されるということなので、情報を入手していきたい。

### その他

○白鷹町住生活基本計画の策定状況について説明があった。



議会運営委員会研修 9月19日～20日

那珂川町議会

議会活性化・有害鳥獣対策等について研修を栃木県那珂川町で行った。

議会活性化について

①議会改革特別委員会の設置について  
 ・平成19年3月に設置し、これまで51回開催している。

②議会改革の成果

・議員定数の削減、議会基本条例の制定、議会報告会の開催等を行っている。

③議会報告会の開催状況

・平成25年度から令和5年度において、26会場、315人の出席者があった。内容は、議会基本条例の内容・庁舎建設・議会活動・議員の定数



那珂川町議会にて

削減等についてであった。

有害鳥獣対策について(イノシシ肉加工施設現地研修)

①設置目的

・農作物に多大な被害を及ぼすイノシシを捕獲し、地域資源として特産化することで、農作物への被害を軽減するとともに、地域の活性化を図るために設置。県内唯一の施設。

②事業概要・管理運営状況等

・平成20年度に、総事業費3800万円で、洗浄室、皮剥処理室、部分肉加工室等を整備し、町単独で、屋外冷凍庫、食肉金属探知機等を整備した。管理運営は、那珂川町直営で、令和6年度

予算2840万円、専従職員4名体制、全て会計年度職員であり、個体受け入れから商品発送まで業務全般に従事している。

③個体の受け入れ条件

・ワナによる捕獲であり、体重30kg以上で、搬入マニュアルに合致したもの。個体買入価格は、町内捕獲500円/kg、その他、1頭当たり1万4000円の捕獲奨励金がある。

④その他

・捕獲者が最高齢80歳後半、平均60歳で、高齢化、後継者不足等が課題である。

結婚・出産・子育て支援について(子育て世帯用住宅 エミナル那珂川現地研修)

①事業概要  
 ・子育て世代の希望と経済的負担の軽減をかなえるため、積水



イノシシ肉加工施設研修

②特徴

・安心して遊べる入居者専用の中庭や、子育て支援センターを併設している。

まとめ

この度の研修は、全体を通して、今後の当議会の活性化や当町のまちづくりに取り組み上で大いに資するものであり、当議会としても、研修で学んだ知識や経験を活かすように取り組みたい。

総務厚生常任委員協議会

11月29日

## 利用しやすい施設を目指して

白鷹町多世代交流型子育て支援・健康推進拠点整備について説明を受けた。

### 【施設管理】

子育て世代や働き世代も利用できるよう、土日及び夜間の開館に対応すべく、民間事業者による施設管理について聞き取りを進めてきた中で、開館体制について実現の可能性が確認できた。

今後、指定管理者による管理を見据え、公募に向けた具体的な検討を進めていく。

### 【追加工事の実施】

託児対応への内装改修、多目的運動ホールへの更衣室設置等、必要がある。また、集中管理スペースの設置やカフェスペースのカウンターや厨房等の設備設置など、併せて検討する。

### 【事業費(概算)】

- 令和7年度以降想定される追加工事関連
- ・工事請負費 2700万円
- ・実施設計費 300万円
- ・監理費 100万円

### 質疑

#### 指定管理者

**委員** 指定管理者の用途はたつたのか。

**当局** 数社に聞き取りを行った中で、管理の可能性は確認できたが、具体的にはまだである。  
**委員** 指定管理者は、施設管理のみになるのか。  
**当局** 施設管理全般に加え、多目的運動ホールを利用した運動事業等の企画運営も含めて検討を進めている。



整備が進む健康福祉センター

#### カフェスペース

**委員** カフェスペースの多様な利活用とは、具体的にどのようなものか。

**当局** コーヒーメーカーや自動販売機の設置なども可能。また、福祉的な視点を取り入れられないか、現在検討中。

### 【令和7年度以降の指定管理】

- ① 指定管理者 (一財) 白鷹町アルカディア財団
- ② 指定管理施設 各地区コミュニティセンター(町内6カ所)
- ③ 指定管理期間 5年間(令和7年4月～12年3月)
- ④ 指定管理委託料 令和7年度想定 7600万円  
債務負担行為 3億8000万円

### 【今後のスケジュール】

- 12月中旬 職員募集
- 1月下旬～2月上旬 職員採用試験
- 2月中旬 採用決定
- 4月1日 新組織での業務開始

## コミセン 4月より新体制に

コミュニティセンターの新たな運営体制について説明を受けた。

### 質疑

#### 年齢制限

**委員** 職員募集は年齢制限をつけるのか。

**当局** 定年を65歳に設定するので、年度末時点で64歳以下の方で、高卒以上の方と考えている。

#### 職員採用試験

**委員** 採用試験は財団のみで行うのか。町や地域も関わるのか。

**当局** 検討中だが、財団のみでなく、町や地域と連携して審査したい。

#### 財団からの意見

**委員** 指定管理を受けるにあたって、アルカディア財団の役員から意見はあったか。

**当局** 人材育成について質問があった。

**副町長** 新たな業務となり不安はあるようだ。町としっかり連携していきたい。予算規模も増えるので、経理の部分もしっかりしていきたい。



やまかい 山峡紅の里 (十王コミセン)

その他  
○令和6年12月2日からの健康保険証について説明があった。



## 新たな特産品を開発し、地域産業の活性化に向けて

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

### 【課題整理】

課題として、利用者の確保や管理運営に係る体制の整備があり、改めて関係団体等から意見を伺ってきた。現状では、「既に商品開発が済んでいる方しか利用できない」などの意見が多数あり、施設機能にも課題があると捉え、再度検討を行ってきた。

### 【検討経過】

施設の配置等、専門的な見地からより具体的な意見を伺うため、「白鷹町6次産業化推進拠点施設整備検討会議」を立ち上げ検討を進めてきた。  
○いただいた意見等  
・本施設を利用したい

と考えるような内容にしてほしい。

- ・販売する場合、アドバイスをもらえる体制の整備。
- ・利用料を安価にすることや、町内の方が減免するなどの工夫が必要。

### 【基本構想の拡充】

「基本理念」や「基本方針」はそのままに、気軽に商品開発に着手できるワークスペースや、試作品のマーケティングのための販売スペースを追加するなどの機能充実を図り、充分な作業スペースを確保するため、敷地を確保していく。

### 【運営管理・支援体制】

指定管理を基本に、スタート時には直営（委託を含む）での運営も視野に準備を進めていく。

- ・組織体制
- ①常勤職員 2人
- ②アドバイザー（非常勤）1人

### 【利用料】

ワークスペースや貸工房の利用料については、類似施設の使用料を参考に設定していく。

### 【今後の対応】

引き続き、いただいたご意見を踏まえ、具体的な施設のレイアウトや導入機器のほか、施設の管理運営体制等について、詳細な検討を行っていく。

### 質疑

#### 町外利用

**委員** 町外の方も利用できるのか。

**当局** 町外の方も利用可能としていきたい。通年、常に利用者がいるような状態にしたい。ただ、町の施設なので、利用料に差をつけることを考えていきたい。

#### 組織体制

**委員** 常勤職員2人と非常勤のアドバイザーはいつからこの体制になるのか。

**当局** 基本的には施設オープンからとなるが、研修などにも必要であれば、オープン前ということもある。

#### どおりむ農園との関わり

**委員** どおりむ農園との関係性はどのように考えているか。

**当局** 新施設の販売スペースはあくまでもマーケティングに向けたものであり、機能分担しながら、相乗効果を生み出していきたい。

#### 利用希望者

**委員** 利用希望者が増えた場合、施設が足りないということも想定できるがどうか。

**町長** そのような形になることを期待したい。利用が活発になるよう、ぜひPRしてほしい。



商品開発の第一歩（真空パック）

# — あの質問のゆくえ —

## 捕獲わなの増設は



鳥獣被害の減少、箱わなの活躍に期待

有害鳥獣対策として、捕獲わなの数を増やすことはできないか。

(令和5年9月議会の質問)

答 弁

わなの数については、白鷹町鳥獣対策協議会で検討しながら対応したい。

どうなった

### 箱わなを増設し※捕獲圧を高めている

◆クマ被害の対応としては、役場関係部署や関係機関、地域住民の方々と連携・情報共有を行い、花火による追い払いや注意喚起、広報等を実施しています。状況に応じて、白鷹町鳥獣被害対策実施隊（猟友会）と連携を取りながらクマの有害捕獲を実施しています。

◆わな等の資機材導入にあたっては、仕様や必要数量、管理方法等を実施隊と話し合いをし、令和5年9月以降、クマ用ドラム缶式わな2基とクマ用箱わな1基を新たに導入し、5基から8基に増設しました。また、イノシシによる農作物被害も相次いでおり、今年度にイノシシ用箱わな30基を新たに増設し捕獲圧を高めています。

◆鳥獣被害対策については、①電気柵等による被害防除、②有害捕獲による個体数管理、③藪の刈払いや放任果樹・残さ等の除去による生息環境管理の3本柱が重要であると考えていますので、関係機関はじめ地域の方々の活動による被害軽減にご協力をお願いいたします。

※捕獲圧…狩猟及び許可捕獲（有害鳥獣捕獲や個体数調整等）による野生鳥獣に対して与える影響のこと

【林政課】

捕獲わなが増設されたことを高く評価する。今後は、鳥獣被害対策実施隊の人材確保や処遇改善など、支援の充実をさらに推進していただきたい。





# 追跡レポート

## 上下水道の耐震化は



給水車の活用も、日頃の訓練が大切です

能登半島で地震による断水が続いている。本町も上下水道関連施設の耐震化は急務ではないか。

(令和6年3月議会の質問)

答 弁

財政面等での課題はあるが、管路更新時に耐震管への交換や、各施設の耐震化を図っていきたい。

どうなった

### 「システム」としての耐震化に取り組む

◆管路更新時に耐震管への交換を進めるほか、被害の影響が大きいと考えられる施設や基幹管路、災害時の重要な拠点となる病院や避難所の給排水ルートを優先的に耐震化するとともに、現在実施している水道基幹管路の複線化などによるバックアップ機能の確保等により、「上下水道システム」としての耐震化に取り組んでいきます。

◆また、利用者の皆様に、わかりやすく丁寧に耐震化の重要性についてご説明をし、おおむねの年次計画をお示しするなどして、地域住民の皆様と連携して「給水訓練」や「防災訓練」を実施するなど、耐震化が完了していない状況を補う施策を実施する必要もあると考えています。

◆現在、改定を進めている「水道事業経営戦略」、来年度改定予定の「下水道事業経営戦略」を基に※アセットマネジメントを実践する過程において、安定した経営基盤を確立し、効果的かつ経済的に各施設を耐震性のあるものに換えていくことで、「上下水道システム」を健全な姿で次世代に引き継ぎながら、事業の持続性確保に努めていきたいと考えています。

※アセットマネジメント…中長期的な視点で、施設を効率的かつ効果的に管理運営すること

【上下水道課】

耐震化に合わせて老朽化も課題となっており、早急な改善が必要となる。町民への過度な負担とならぬよう、中長期的な安定した経営計画が求められる。

ぜひ、運動マルシェにお越しください。



チーム★健康美プロジェクトの皆さん  
(荒砥地区)

## 輝く地域の力 白鷹の未来を彩る チーム★健康美プロジェクト

… 心も身体も健康になろう …

チーム★健康美プロジェクトの皆さんに、お話を伺いました。

**活動のきっかけは**

新型コロナウイルスで外出自粛となり、運動不足やストレスで心身の健康が脅かされることが心配でした。遠くに行かなくても歩いて行ける距離の運動教室があればいいと思います。有志で立ち上げました。

メンバーは、講師も含め荒砥地区の出来町、横町中心に11人です。

**活動内容は**

月1回、主にストレッチ等の運動や、ボールエクササイズグッズを取り入れた機能改善運動を行っています。お口の運動(おしゃべり)も毎回欠かさず行っています。(笑)

**大切にしていることは**

参加も無理なく、運動も無理なく、をモットーにしています。来る時に来て、無理なく運動することで、みなさん継続して取り組むことができている。

**活動してよかったことは**

気軽に参加でき、毎月楽しみにしています。おしゃべりもしながら楽しい時間を過ごせ、心も身体もリフレッシュできます。月1回でも、運動したという自己満足感が好きです。

**運動マルシェが有名ですが**

仲間と一緒に身体を動かす、心も身体もスッキリする心地よさを多くの皆さんに体験して欲しいと思います。企画しています。今回で3回目になります。

乳幼児との親子体操や大人向けの各種エクササイズに加え、体成分分析装置インボディや姿勢診断など盛りだくさんの内容です。

マルシェを開催し、いろいろな人とのつながりができました。町外からの参加者も多く、運動したいと思っている人が多いことに気づかされました。



運動マルシェでの一コマ

今回は3月2日(日)に「あゆむ」で開催しますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

**議会へひとこと**

心も身体も健康になれる町づくりをお願いしたいです。議員の方々も、まずは体験してみてください。(笑)

**取材を終えて**

これからの時代は「健康寿命」が一つのキーワード。一人よりも仲間と一緒に無理なく行えば、楽しく長続きできる、好例ではないでしょうか。(竹田)

**編集後記**

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年秋の総選挙の結果、この国のありようが少しずつ変わってきています。それは我々の生活も変わるということであり、今後も政治の動きに注視していきましょう。

さて、暗い話題の多い昨今ですが、今年は十二支でいう「乙巳」の年です。発展と再生を意味し、努力が実を結ぶ勢いのある成長の年、と言われています。白鷹町も我々町民もそんな年にしたいものです。時節柄、どうぞご自愛ください。(竹田)

**広報委員**

委員長 丸川 雅 春  
副委員長・編集長 佐々木 誠 司  
委員 金 田 悟  
委員 竹 田 雅 彦  
委員 衣 袋 正 人  
印刷・術 梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128  
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/

